

# 2015年12月特別賞

ここに、お寄せいただいたメッセージをご紹介します。(五十音順・敬称略)

◆一番人気のせいろ蒸し、東京のお客さんは大満足。(長野放送相談役 相崎由松)◆弥生座さんの出店に刺激を受け、当店も仲間世に出店しました。お互い頑張らしましょう。(すや庵店主 青木茂人)◆いつもあったか美味し。家族がつかがるもうひとつの我が家です。(長野市/自営業 荒川浩志)◆女将は、20代で店を始めたのかな? (元長野朝日放送専務 池内紀昭)◆門前せいろがある限り、通い続けます!(スペシャルオリンピックス日本・長野理事長 伊藤喜久子)◆観光客も地元客も満足。これぞ本物の門前商い。(長野市/中小企業診断士 伊藤結樹)◆すぐそばのお店と文化の場つくりにいぶし銀のような艶を感じます。(ISHIKAWA地域文化企画室代表 石川利江)◆夫の故郷に10年前に戻り、せいろ蒸しに、信州牛の美味しさに、優しい雰囲気、に、家族揃って絶賛しております。(長野市/主婦 石黒絹代)◆あなたの精神力には頭がさがります。(長野調理製菓専門学校常務 石坂里子)◆大変！口ノ感じ落ち着きます。階段を上る時の「ギン、ギン」という音がなんとも言えません。(長野日野自動車専務 石坂富雄)◆新しい長野の名物せいろ蒸しとの出会いは最高。(元連合長野市長 市川隆司)◆美味しい料理に温かいおもてなし、最高です。(ながの観光コンベンションビューロー観光部次長 市村久子)◆誕生日、七五三、入学、合格祝い……。節目節目に弥生座へ。息子が20歳になりました。(長野市/大橋旅館女将 伊藤圭子)◆遠方から美術関係者が見えたとお店に伺います。お客様は大喜び!! 自慢の「切り札」です。(県信濃美術館学芸係長 伊藤羊子)◆子どもや孫たち、妻や友人の思い出が詰まったプライベートな空間です。将来、孫たちが「いっちゃんや、ばばちゃまと来たね」と思い出せるよう永く続けて下さい。(信濃毎日新聞社前副社長 猪股征一)◆空気が美味しくて、食事は最高。信州大好き! 弥生座大好き!(東京/元会社員 今井澄雄・しのぶ)◆店主の武井さんのお話が、善光寺開祖本田善光の夫人入信御前のように神々しく見えます(笑)。(野村證券長野支店長 浮田稔博)◆地産地消の美味しい料理を頂き、明日へのエネルギーを充電。(長野市/福うさぎ)◆長野での記者時代、照る日曇る日どんな時も美味しい料理と温かいおもてなしでほっとさせてもらった大切な場所です。(名古屋市/テレビ愛知企画社長 大橋敬人)◆女将の笑顔とせいろ蒸しが何よりのエネルギー補給です!(同学院トータルデザインアカデミー校長 岡正子)◆これからも信州の伝統の文化を大切にしつつ斬新なメニューを楽しくしていきます。(オフィス・マユ代表 尾崎明子)

◆もう20年! 元気な顔が続いてよかったね。(長野市/フリーライ

ター 金子万平)◆「いつもの豚で」と注文するほど通い続けています。食後の手作りアイスも絶品。(長野市/主婦 プーちゃん好き)◆この20年で善光寺門前に信濃の文化の拠り所を創られましたね。(長野県短期大学学長 上條宏之)◆これからも美味しくくて華やかな郷土の味を楽しめるようお願いいたします。(長野市/会社員 川上信一)◆信濃では月と仏とせいろ蒸し。一番茶(長野市/自営業 K-T)◆春に食べたアスパラガスの天ぷら、とても美味しかった。食材を活かした優しい料理をあの空間でいただくことは、日頃の忙しさから離れた癒しのひとときです。(北野病院院長 北野敬造)◆いつも楽しみに、月に一度は何てしています。(長野市/紅美容室 木村公枝)◆郷土料理のおいしさの中に母の味が隠れていることを思い出させてくれる茶室です。(元長野石油社長 久保田光博)◆せいろ蒸し、最高です!! (栗田病院院長 倉石和明)◆せいろ蒸しの信州牛の旨さを教えてくれた恩は忘れません。(東京/日本経済新聞社 小嶋健史)◆店の方々の笑顔 季節の食材に彩られた料理 友人達と楽しいひとときを過ごす「座」。(元テレビ信州社長 小林司郎)◆楽しい時も、少し寂しい時も、騒ぎたい時も、癒されたい時も、大勢の時も、少数の時も、いつも面倒見ていただきました(長野市 K-T)◆女将さんの厚いおもてなしと信州牛のせいろ蒸しの美味しさは永遠です!(県職員 K-M)◆本田善光の奥方、弥生御前が由来の店名は、門前と女将さんのイメージにぴったりですわ。(長野郷土史研究会副会長 小林鈴子)◆えっ! まだ創業20年だったのですか? 創業200年の風格が漂っていますよ。(東京/スカパーJSAT副社長 小森光修)◆美味しい料理と急な階段はより極楽に近い。ご利用の際は当院へ。(善光寺善光堂長老 小山健英)

◆「せいろ」とてもシンプルでダイエイト向きですなね。でも食べたという感覚があります。(長野市/主婦 斎藤星子)◆美味しい野菜が食べたくないと弥生座に行きます。女将さんと話がしたくなる時も!(長野市/会社員 S-M)◆弥生座主催の「座の会」が発足して14年。業種も立場も異なる会員の卓話や会費の様子を記録した「座の会だより」を発行するなど県内広しといえどもこんな会は珍しいのでは。(元清泉女学院短期大学教授 飯島久男)◆シニアはキョウヨウ(今日用事がある)が大事! 座の会は打って付け!(鎌倉市/日本コムシズ顧問 島田博文)◆弥生座の名前に誘われ20年。成人式おめでとう。(元長野中央郵便局長 清水英雄)◆女将さんの笑顔 20年間変わらないね。(中野市/写真家 清水博純)◆今流行のリノベーションの先駆け

弥生座は一九九五年三月二十八日、善光寺門前、長野市大門町の築七〇年の歴史ある商家を再生して誕生しました。以来、大勢のお客様が「山のせいろ蒸し」を好まれ、門前の名物料理にしていただきました。これからも、皆様喜んでいただける店づくりに努めてまいりますので、武井工芸店とともに何卒ご協力、お引き立てのほどよろしくお願ひ申し上げます。

店主・スタッフ 同

## おかげさまで本日創業二〇年

で20年過ぎても変わらない輝きが魅力です。(善光寺徳寿院住職 清水雄介)◆弥生座という名前が素敵ですね。(時事通信社長 長野支局長 杉山文彦)◆真夏の暑い日差しが欲しいアイスが癒や毎年、長野に来る度、蒸し料理に魅せられ寄らせていただいております。(神奈川・湯河原/フリー 鈴木利紀)◆たまの休日、善光寺までのウォーキング、帰りに弥生座のせいろ蒸し。佳き一日を有難う。(東京/元長野朝日放送専務 鈴木明治)◆信濃路は そばに加えて「せいろ蒸し」。女将あつての長野「弥生座」(東京/元長野朝日放送専務 炭田幸秀)

◆20周年という月日に武井さんの強い想いを感じます。毎回、素晴らしい方々と友好を深めました。(長野市民病院院長 竹前紀樹)◆美味しい蒸し料理と心地よなお心遣いは、我家では遠来のお客様へのおもてなしには欠かせません。(立岩内科小児科医 立岩孝之・三代子)◆座の会は、中央の有志と地元の有志とが月に1回食する「長野と都会(中央)を結ぶ小さな窓」です。お店と長野市の将来のためにぜひ続けてください。(元八十二銀行頭取・長野県環境保全協会顧問 茅野賢)◆信州牛と季節の野菜を美味しく食べることが出来るのでありがたいです。(善光寺常行住職 東條英輝)

◆「酒飲み会話が似合い、昔の縁の雰囲気併せ持つ」そんなお店で有り続けて下さい。(長野市/シーエスデー営業顧問 永井宇一郎)◆長野へ行ったら弥生座に顔を出します。美味しい食物と女主人の明るくおもてなしがあるからです。(藤沢市/元長野朝日放送社長 永澤征治)◆古い家を生き返らせてくれて有難う。(長野市/中惣商店代表 中島庸介)◆長男が帰省したら、まずは弥生座のせいろ蒸し。これが我が家の定番。(弁護士 中村隆次・田鶴子)◆湯気の向こうに 女将の笑顔 変わらぬか! (長野こまち社長 中山栄子)◆重要なお客様との会食は弥生座に決めています。(長野県労働企画常務理事 西村良隆)

◆これからも心地の良いお店でありますように。(東京/日本IBM 成長戦略 部長 羽川茂雄)◆古民家に新しい息吹。信州のいま昔を感じさせる弥生座はいまや記憶遺産ですね。(東京/法政大学教授 萩谷聡)◆ヘルシーで美味しい郷土料理に「愛」を感じます。(長野市/会社員 長谷部久夫)◆弥生座は母屋、座の会は離れ的存在。いずれも大切な人との出逢いの場。(元連合長野野事務局長 原田美登)◆そこに集う人々の信州気質をも守り

育まんとする女将の熱き心意気。(東京/弁護士 綿山哲)◆もんべ姿がすっかり女将さん。お店に伺って、差し上げた旅館時代の器が出てくるのが懐かし安心します。(御本陣藤原屋員 藤井兼子)◆東京からの気のおけない知人と、つい長居してしまつたのもここ。友人から離婚の結婚報告を聞いたのもここでした。いつもすてきな時間をありがとう。(長野市/ぶみぽん)◆お品を大切に頂く一日を有難う。(東京/元長野朝日放送専務 鈴木明治)◆信濃路は どのように嬉しかったことでしょうか。(松本市/建築家 陣崎廣信)

◆分野を越えた会話が当たり前の顔で今日も存続していることに深い感動を覚えます。(信州大名譽教授・天台佛師法眼 松田松二<峯琳>)◆1人娘の初参り、七五三、入学……。喜びの節目にいつも弥生座さんに祝って頂きました。笑顔と美味しい料理は幸福のシンボルです!(長野市/会社員 M-S)◆弥生座でのひとときは、お連れしたお客様共々江戸の風情を楽しんで、話が花が咲く社交場!! (アサヒエージェンシー社長 宮下忠之)◆20年のうちわずか3年ですが、お付き合いでき光栄です。(東京/日本経済新聞社 村田文敬)◆東京の設計事務所や建設会社のお客様を御案内し、いつも喜んでいただいています。(東京/エコー社長 母袋博一)

◆圓根がたきに勝って、呑む 弥生座の酒と料理のうまさよ。(日本棋院長野県本部部長 山根敬郎)◆日々「また来るよ」のひと言が疲れを和らげ、その重ねが20年に値する。まごころと信頼が同居している店だと思います。(長野県調理師协会会长・ゆめ代表 湯本忠仁)◆ヘルシーで健康的な味の蒸し料理の先駆け。その上に長寿の信州があります。とてもうれしい店の一つです。(長野市/料理研究家 横山タカ子)◆「座の会」での料理とお酒は信州暮らしの楽しみの1つでした。(東京/日本経済新聞社 吉野蔵一)

◆二階の和室は隠れ家のような格別です。お店の皆さんの柔らかなおもてなしもすばらしい。(善光寺白蓮坊住職 若麻緒敏隆)◆20年ですか!! わたしには30年以上も続けてきたお店のように思えます。この風情・佇まい、大切にしてください。(善光寺湯之坊老僧 若麻緒信孝)◆何よりも細やかなおもてなしと、長い年月食材の質を大事に考えての心遣いに感動です。(長野市/主婦 和田ひとみ)◆文化の薫りする面白い店づくりのご奮闘を引き続きお願いします。(信濃毎日新聞社専務 渡辺重久)



2015年12月28日付 5段

(有)武井工芸店・門前茶寮弥生座 [扱]アサヒエージェンシー/制作 アサヒエージェンシー・宮村デザイン]